



第86回ワーキンググループ会議Web (令和2年7月16日)



「ケアマネジャーが実践している 利用者の意向を尊重した支援とは」

社会医療法人誠光会 居宅介護支援事業所きらら

介護事業局副局長/所長 **森本 清美 さん**

「満ち足りた最期を迎えるため」をテーマとして開催している今年度のワーキンググループ会議も4回目となりました。今回は、本人の意向や生活状況から最適なケアプランを作成されるケアマネジャーが、本人が満ち足りた最期を向かえるためどのように関わっているのか、また、その時に大切にされていることは何かについて、事例を交えながらお話ししていただきました。

ケアマネジャーの役割とは

本人・家族の思いやニーズを知り、それを専門職やサービス・人に繋げ、本人に必要な支援チームを作る

支援をする時に大切にしていることは？

本人を取り巻く状況・環境を知る

本人・家族がどんな生活を望んでいるのかを知る

本人の意欲をしっかりとらえる

これらを実現するために

- ☆本人と家族の声・思いに耳を傾ける
- ☆本人と家族の気持ちの揺れに寄り添う

でも・・・

本人が言いたいことを我慢しているかも・・・



本人と家族の思いにずれがあるかも・・・

そんな時は・・・

ケアマネジャーの倫理観、理念に立ち戻って、本人の意思決定・意向を最優先に重きを置いた支援につなげる！

WEB

【第87回ワーキンググループ会議】

テーマ：「排泄支援に関する取組報告」

話題提供者：医療法人芙蓉会

よつば訪問看護ステーション

看護師 谷口 智恵巳さん

日時：9月24日(木) 18:30~19:50

第1部 挨拶&講義

第2部 質疑応答 等



参加者より

- ・エンディングノート活用のご提案について、その前段として、ご本人との信頼関係を十分に築いておくことが大切、というお話が印象的でした。ご本人の生き方、逝き方に直接関わる事柄であるだけに、ご本人との信頼関係をより深く築いておくことが大切であり、意識していこうと思いました。
- ・ケアマネジメントを必要とする方の状態はそれぞれ違っていますので、それぞれの方々に合った支援を一つひとつ考える必要があり、そのことを思うと、ケアマネジャーの方には本当に頭が下がります。仕事に対して誇りと情熱がないとできないことだと思いました。
- ・仕事をしているとお客様の中の一人として接してしまいがちですが、ご家族にとってはかけがえのない人であることを考えながらサービスを提供しないといけないと思いました。
- ・意思決定支援を行う際に、利用者や家族の思い・ニーズを知ることが大事だが、それを多職種のチームで共有することが大事だと改めて感じました。
- ・地域連携を強固にするため、事例から積み上げていくことも大切であると聞いて、本当にその通りだと思いました。実際に同じ事例と一緒に取り組むことで、他職種のこととも理解でき、また助け合えることがたくさんあると思います。

医療職、介護職、行政書士、県・市の行政職など約52名の方が参加されました。本人の意向を尊重した支援について、森本さんのご経験を踏まえて多くのことを教えていただきました。紙面に掲載した以外にも大切なことがたくさんあります。ホームページの「みとりちゃんTV」で公開していますので、ぜひご覧ください！

【研修会のお知らせ】

日時：令和2年8月30日(日)

14:00~16:00

場所：コラボしが21大会議室を拠点にWEBで開催

テーマ：「QOD(死の質)を実現する意思決定支援とは」

内容：臨床宗教師の野々目月泉さん、在宅医師の中村泰之さん(ふくしあ)、成年後見の中原一隆さん(NPOあさがお)によるリレートークと講師間の意見交換

ご意見等お待ちしております！

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 金岡・西浦
TEL:077-528-3529/FAX:077-528-4851/E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp